

自動車整備・スポーツメカニクス科			2025年		授業計画	
時 期	前期	単元	実習	教科名	基本実習	
科 目	実習	教科書等 持参品			発行日	2024.03.24
時限数	35時限				教科担当	草葉
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
整備全般の実務経験がある教員により車両全体の分解、調整、組立ておよび組立て後の性能試験を指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
・走行過多車両の各部磨耗、劣化の実物を確認し、その実態を知る。 ・上記磨耗、劣化の修復により、走行性能の回復を体感する。 ・上記のための作業を行うことで、基本、応用作業の習熟をし、作業の精度を向上させ、将来の整備作業に備える。						
3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来ようになるのか）						
・走行過多車両の各部磨耗、劣化は、レース走行中のレース車両に起こることと同じであることを知り、それがどういった走行性能低下を招くかを知る。レースメカニクスの基本的な知識とできる。 ・整備作業全般の精度向上。						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
・レポート評価　－　テーマ：担当車両の劣化、磨耗部およびそれどう走行性能に影響したか。						
5. 準備学習						
走行性能を測るには、何を検証するためにどういった手法を行い、どういう結果が想定でき、どう判断できるか自論また一般的なところを調べる。						

時 期	前期	単元	実習	教科名	基本実習		
6. 授業概要（時限ごとの主な授業内容）						7. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容					資料、備品類	数量
1	車両から E/G , T/A(T/M) の脱着（補機類の脱着）					工具一式	
2	（付随作業として、ブレーキ、サスペンションの脱着作業）					計測器一式	
3	エンジン本体の分解					アライメントテスタ	
4	基本構造と役割, 特性の理解						
5	各部計測により、磨耗状態の点検						
6	クラッチの構成部品、名称、作動確認						
7	各部計測により、磨耗状態の点検						
8	トランスアクスルの分解						
9	基本構造と役割, 特性の理解						
10	各部計測により、磨耗状態の点検						
11	ディファレンシャルの分解						
12	基本構造と役割, 特性の理解						
13	各部計測により、磨耗状態の点検						
14	トランスアクスル組み付け						
15	ドライブシャフトジョイント分解						
16	基本構造と役割, 特性の理解						
17	サスペンション						
18	基本構造と役割, 特性の理解						
19	磨耗損傷状態の確認（ストラット, 各ブッシュ）						
20	アライメント計測						
21	アライメント復習、理解						
22	ブレーキ						
23	基本構造と役割, 特性の理解						
24	各部計測により、磨耗状態の点検						
25	エンジン始動前、始動、暖機中の点検（OH後）（アイドル、点火時期）						
26	コンプレッションの測定						
27	試乗により改善確認						
28	↓						
29	↓						
30	↓						
31	↓						
32	↓						
33	↓						
34	↓						
35	まとめ						